

10月の生活指導・ソーシャルスキルトレーニング

心育成P

1. 生活目標

あたたかいメッセージを送ろう

2. 10月のターゲットスキル

「気遣う」「励ます」温かなメッセージを送る。

3. 指導内容

<インストラクション>

9月に引き続き、10月のソ - シャルスキルは「**あたたかいメッセ - ジをおくろう**」です。温かいメッセージというのは、相手にとって、気持ちのよい言葉をかけてあげることです。

1学期の「温かいあいさつ」でもやりましたが、言葉かけには、温かいものと冷たいものがあります。温かい言葉かけは相手を良い気持ちにさせますが、冷たい言葉かけは嫌な気持ちにさせます。

先月は、「ほめる」「感謝する」メッセージを送る練習をしました。この2つのメッセージは、相手ががんばっている時や、いいことをしてくれた時に送るメッセージでした。

今月は、**困っている人や悩んでいる人**に送る、温かいメッセージを練習します。それは、「気づかう」「はげます」メッセージです。

「ほめる」「感謝する」メッセージを送るときと同じように、「**その人の様子 + 感情語 (気持ちを表す言葉)**」で言ってあげます。

例えば、ドッジボールの試合に負けてしまった人がいたとします。そんな人に送る、相手を気づかうメッセージは次のようになります。

「もう少しで逆転できたんだけどね。(様子)でも、よくやったと思うよ。(感情語)」

また、相手を励ますメッセージは次のようになります。

「終わってしまったから仕方ないよ。(様子)次の試合はがんばってね。(感情語)」

などです。

「気づかう」「はげます」感情語は、ほかにも「残念だったね。」「大丈夫だよ。」「これからがんばろうよ。」などがあります。

では、これから先生方が見本を見せます。どんな言葉かけが、「気づかう」「はげます」温かい言葉かけなのか、よく見てくださいね。